



元気カフェ<sup>▲▲</sup>は、障がいのある方が接客等を通じてさまざまな方と交流することで、障がいに対する市民の理解促進につなげ、また、障がいのある方が生き生きと働く姿を見てもらうことにより、民間企業における障がい者雇用の促進を目的に設置されるものです。元気カフェ本の森は、社会福祉総合センター1階ロビー、市本庁舎1階ロビーに続く3店舗目となります。

- ◇場所：札幌市中央図書館1階ロビー内  
札幌市中央区南22条西13丁目  
TEL/FAX:011-513-0260 E-mail :info@union.co.jp
- ◇開設日：平成25年2月1日
- ◇設置：札幌市障がい保健福祉部障がい福祉課
- ◇運営事業者：ユニオン給食株式会社
- ◇運営協力者：NPO法人オーク会
- ◇従業員：8名 店長、副店長、スタッフ(障がいのある方)6名
- ◇営業時間：10:00～17:00
- ◇定休日：第2・4水曜日

### ▲ワークショップによる計画づくり

カフェのコンセプト、整備イメージ、取り組みアイデアについては、札幌市立大学の学生、障がい者支援団体のスタッフ、中央図書館職員等によるワークショップで検討を行いました。図書館の持つ「本」という知の資産や周囲の風景や環境資源を活かしたカフェを目指すなどの方針を定めました。



### ▲障がいのある方の家具づくりへの参加

カフェに置かれる家具は、障がい福祉施設「札幌クローバー会」で働く障がいのある方が、訓練も兼ねて製作に参加するというプロセスを経てつくられたものです。また、象徴的に掲げられた木のサインは、「工房もく」(社会福祉法人草の実会)の糸のご技術で切り出されました。



### ▲学生とのコラボによるグッズ開発

図書館の特徴を活かしたカフェのショップカードは、しおりとしても活用できるものを検討してきました。具体的なデザイン案については、札幌市立大学の学生とのコラボレーションによって作成しました。元気カフェ本の森は、オープン後もたくさんの人たちの手でその魅力を育てていきます。



### ▲事業者、障がい者支援団体の協働運営

「元気カフェ本の森」は、札幌市、ユニオン給食株式会社とNPO法人オーク会の協働により運営されます。



### 家具と古代文字

カフェの家具には、「本」の原型とされる歴史資料がプリントされています。これは、ロビーに隣接する展示室で、毎年定期的で開催される「本のすがた展」のコンテンツをもとにしたグラフィックデザインです。元気カフェ本の森は、MUSEUMのイントロダクションの場ともなり、図書館の他の機能をつないでいきます。



ラポップ王子の石柱に描かれたヒエログリフ / エジプト



LEONARDO DA VINCI パリ手稿



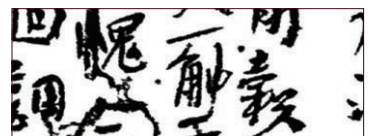
亀卜用の亀甲 / 中国殷王朝



クサビ形文字(粘土板、円筒印章) / メソポタミア



源氏物語 / 日本



〇〇〇〇



パーメント(羊皮紙)の本 / 小アジア



【素材】木材はすべて道南杉でつくられています。  
 【デザイン】どこから見ても違うカタチの家具が、様々な風景をつくり出します。  
 【技術】木工や縫製は、札幌や旭川が培ってきた高い技術によるものです。

